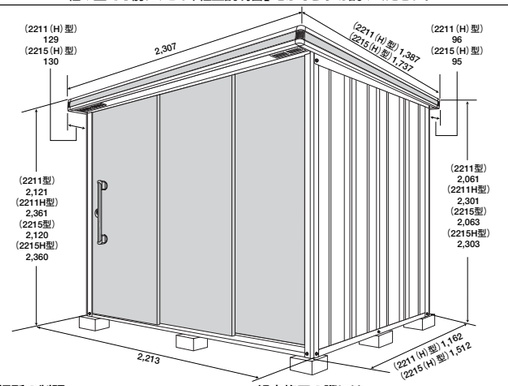
ヨド物置 エルモ
組立説明書 LMC-2211型・2211H型・2215型・2215H型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



設置場所の制限

⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- ●屋のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。
※この組立説明書は「2215」の組立手順を基本に説明しております。

組立施工の際には

⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- ●高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

組立に使用するボルトについて

エルモ アンプレッセeは、組立に使用するボルトの色が2種類あります。部材の色に合わせてボルトを使い分けてください。

〈施工にあたって〉

1. まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2. 基礎ブロックは市販のコンクリートブロックを御使用ください。
   ブロックの大きさは巾19cm×長さ19cm×厚さ10cmのものが適当です。
3. 部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
4. 部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。(安全のため必ず手袋を着用してください。)
5. 部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付ける部材を右、左側に取付ける部材を左とします。
6. 部材の組立ては、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

機種	梱包	部品	前後材	左右材	柱	鼻隠し・補強 一般型	鼻隠し・補強 積雪型	床	屋根	壁	袖壁	扉	棚板	計
2211型		LM4-0142	LM4-0204	LM3-0302	LM3-0401	LM3-1142	LM3-1146	6-075	LM3-0995	LM3-1015	LM3-1022	–	LM4-1704	LM3-1903	11(11)
2211H型		LM4-0142	LM4-0204	LM3-0352	LM3-0451	LM3-1142	LM3-1146	6-075	LM3-0995	LM3-1065	LM3-1072	LM3-1051	LM4-1754	LM3-1903	12(12)
2215型		LM4-0142	LM4-0204	LM3-0303	LM3-0401	LM3-1142	LM3-1146	6-076	LM3-0996	LM3-1013	LM3-1014	–	LM4-1704	LM3-1903	11(11)
2215H型		LM4-0142	LM4-0204	LM3-0353	LM3-0451	LM3-1142	LM3-1146	6-076	LM3-0996	LM3-1063	LM3-1064	LM3-1051	LM4-1754	LM3-1903	12(12)

※合計のカッコ内の数は、積雪型の梱包数を表しています。

梱包内容表

●部品

LM4-0142(2211[H]・2215[H]) 部材名	数量
ELC 下枠前 AS-A3.0	1
下枠 A3 (94)	1
ELC 上枠前 AS-A3.0	1
ELC 上枠後 A3.0	1
ELC 床押え後 A3.0	1
ELC ドレール取付金具	6
ELC ドレール AS-A3.0	1
ELC 屋根前間記 AS-A	1
ELC 床押え後 A3.0	1
ELC 扉 AS-A3.0	1
ELC 扉 AS-A3.0	1
ELC 扉 AS-A3.0	1
ELC 扉 AS-A3.0	1
ELC 扉 AS-A3.0	1
ELC 扉 AS-A3.0	1
ELC 扉 AS-A3.0	1
ELC 扉 AS-A3.0	1

●前後材

LM4-0204(2211[H]・2215[H]) 部材名	数量
ELC 下枠前 AS-A3.0	1
下枠 A3 (94)	1
ELC 上枠前 AS-A3.0	1
ELC 上枠後 A3.0	1
ELC 床押え後 A3.0	1
ELC ドレール AS-A3.0	1
ELC 屋根前間記 AS-A	1
ELC 扉 支持材 AS-A	1

●左右材

LM3-0302(2211) 部材名	数量
ELC 下枠側 A1.5右,左	左右各1
ELC 上枠右 A1.5	1
ELC 上枠右 A1.5	1
ELC間柱 側中1.5L	2

LM3-0303(2215) 部材名	数量
下枠側 A2 (94)	2
ELC 上枠左 A2.0	1
ELC 上枠右 A2.0	1
ELC間柱 側中2.0・4.0L	2

LM3-0352(2211H) 部材名	数量
ELC下枠側 A1.5右,左	左右各1
ELC 上枠左 A1.5	1
ELC 上枠右 A1.5	1
ELC間柱 側中1.5H	1

LM3-0353(2215H) 部材名	数量
下枠側 A2 (94)	2
ELC 上枠左 A2.0	1
ELC 上枠右 A2.0	1
ELC間柱 側中2.0・4.0H	2

●柱

LM3-0401(2211・2215) 部材名	数量
ELC 柱前 AS-右L	1
ELC 柱前 AS-左L	1
ELC 柱 後 L	2
ELC 間柱 前 L	1
ELC 間柱 後 L	2
ELC ドア当り(M)L	1

LM3-0451(2211H・2215H) 部材名	数量
ELC 柱前 AS-右H	1
ELC 柱前 AS-左H	1
ELC 柱 後 H	2
ELC 間柱 前 H	1
ELC 間柱 後 H	2
ELC ドア当り(M)H	1

●鼻隠し・補強

LM3-1142(2211[H]・2215[H]) 部材名	数量
ELC 鼻隠し前 A3.0	1
ELC 鼻隠し後 A3.0	1
ELC 換気 枠	2
ELCはDBCF A3.0	1
床補強 A3	1

LM3-1146(2211(H)・2215(H)) 部材名	数量
ELC 鼻隠し前 A3.0	1
ELC 鼻隠し後 A3.0	1
ELC 換気 枠	2
ELCはDBCF A3.0S	1
床補強 A3	1

●床

6-075(2211[H]) 部材名	数量
床板・B 2	6

6-076(2215[H]) 部材名	数量
床板・A 2	6

●屋根

LM3-0995(2211[H]) 部材名	数量
ELC 屋根板 大 A1.5	1
ELC 屋根板 小 A1.5	5

LM3-0996(2215[H]) 部材名	数量
ELC 屋根板 大 A2.0	1
ELC 屋根板 小 A2.0	5

●壁

LM3-1013(2215) 部材名	数量
ELC 壁・L・A	3

LM3-1014(2215) 部材名	数量
ELC 壁・L・A	4

LM3-1015(2211) 部材名	数量
ELC 壁・L・A	5

LM3-1022(2211) 部材名	数量
ELC 壁・L・F	2

LM3-1063(2215H) 部材名	数量
ELC 壁・H・A	3

LM3-1064(2215H) 部材名	数量
ELC 壁・H・A	4

LM3-1065(2211H) 部材名	数量
ELC 壁・H・A	5

LM3-1072(2211H) 部材名	数量
ELC 壁・H・F	2

●袖壁

LM3-1051(2211H・2215H) 部材名	数量
ELC 袖壁・H・A	1

●扉

LM4-1704(2211・2215) 部材名	数量
ELC 扉前 L・A	1
ELC 扉後 L・A	1
ELC ドア当り(T)L	1
ELC 袖壁 L・A	1
ELIIガラス SA (右)	1
ELIIガラス SA (左)	1
扉施工説明書	1

LM4-1754(2211H・2215H) 部材名	数量
ELC 扉前 H・A	1
ELC 扉後 H・A	1
ELC ドア当り(T)H	1
ELIIガラス SA (左)	1
ELIIガラス SA (右)	1
扉施工説明書	1

●棚

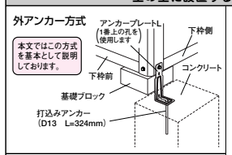
LM3-1903(2211[H]・2215H) 部材名	数量
ELC 棚板 A2.0N	2

○部材名称にはA1.5、A2.0、A3.0等の記号がついた部材がありますが、これらは部材の厚さの記号であり説明書文中では省略しております。
○数量の( )内は予備数量
○外部用ボルトの色　エルモ…白　エルモ アンプレッセe…茶

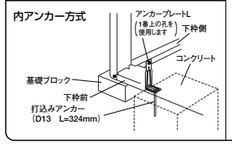
アンカー工事は設置場所によって図のような方法があります。
強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

土の上に設置する場合

外アンカー方式

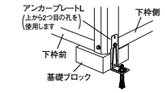


内アンカー方式



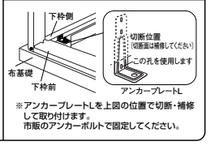
打ち込みアンカーをアンカープレートLの孔に通し、周囲にタテ、ヨコ各々30cm (Hタイプは40cm)、深さ40cmの穴を掘り、コンクリートを打ち込んで固定します。(4ヶ所)
打ち込みアンカーの頭は、物置本体に向けてください。
※コンクリートは市販品を用意してください。
※高さ15cm以上のブロックを使用する場合は、アンカープレートLまで根巻きを行ってください。

コンクリート床の上に設置する場合



※オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12-70以上で)で固定してください。

布基礎の上に設置する場合



※アンカープレートLを上図の位置で切断・補修して取り付けます。
市販のアンカーボルトで固定してください。

⚠注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

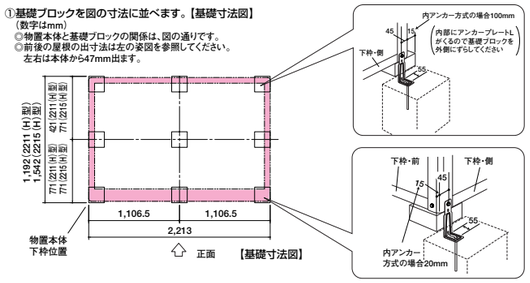
使用ビス一覧

ボルト(白) ボルト(茶) アンプレッセeのみ M6×15	ナット M6	ボルト (スプリングワッシャー付) M6×15	小ネジ M4×10

ボルトの色は、部材の色に合わせて使い分けてください。

1 基礎寸法について

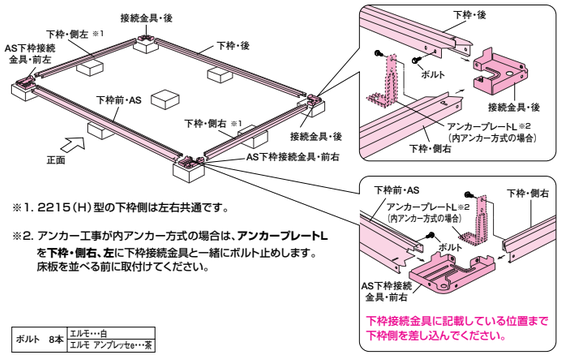
①基礎ブロックを図の寸法に並べます。【基礎寸法図】
(数字はmm)
②物置本体と基礎ブロックの関係は、図の通りです。
③前後の屋根の出寸法は左の姿図を参照してください。
左右は本体から47mm出ます。



2 下枠の組立

①基礎ブロックの上に図のように部材を並べます。
②**接続金具・後**に**下枠・側右、左**および**下枠・後**を差込み、ボルト止めします。(2215(H)型の下枠側は左右共通です)
③**AS下枠接続金具・前右**に**下枠前・AS**および**下枠・側右**を差込み、ボルト止めします。左側も同様にして組立てます。

⚠注意 水準器を使って基礎の水平を出してください。
基礎の水平が出ていないと扉がスムーズに開閉しない場合や、鍵がかかりにくくなる場合があります



※1. 2215(H)型の下枠側は左右共通です。

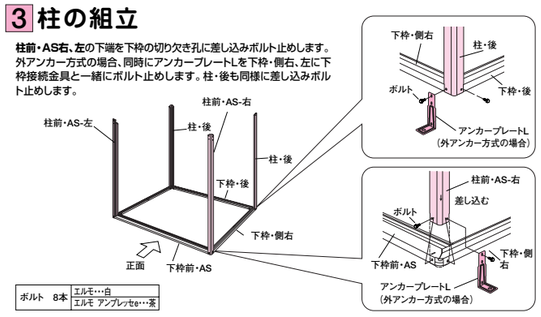
※2. アンカー工事が内アンカー方式の場合は、**アンカープレートLを下枠・側右、左**に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。
床板を並べる前に取付けてください。

ボルト 8本	エルモ…白 エルモ アンプレッセe…茶

下枠接続金具に記載している位置まで下枠側を差し込んでください。

3 柱の組立

柱前・AS右、左の下端を下枠の切り欠き孔に差し込みボルト止めします。
外アンカー方式の場合、同時にアンカープレートLを下枠・側右、左に下枠接続金具と一緒にボルト止めします。柱・後も同様に差し込みボルト止めします。



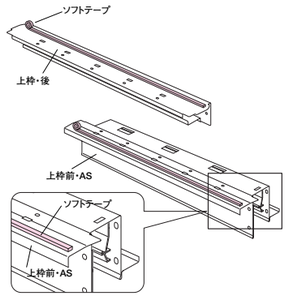
ボルト 8本	エルモ…白 エルモ アンプレッセe…茶

4 上枠の組立

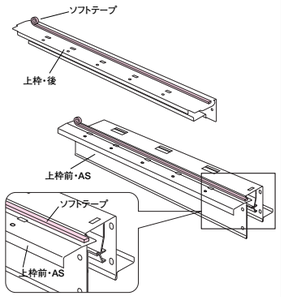
①**ソフトテープを上枠前・ASおよび上枠・後**に貼付けます。

⚠注意 ソフトテープを貼る位置は、機種により異なりますので間違わないようにしてください。
ソフトテープはしっかりと貼付けてください。

2211(H)型

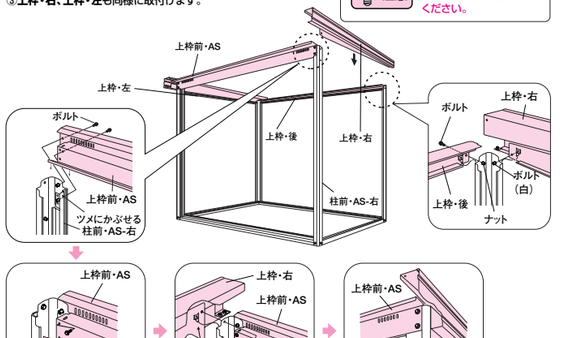


2215(H)型



②**上枠前・ASを柱前・AS右、左**のツメにかぶせて、ボルト止めします。
上枠・後のツメを柱・後に引っかけ、ボルト・ナットで止めます。
③**上枠・右、上枠・左**も同様に取付けます。

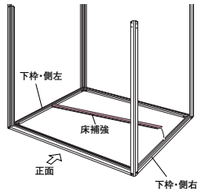
⚠注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。



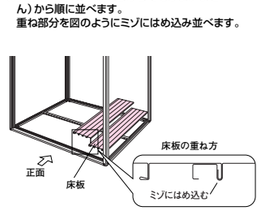
ボルト 16本、ナット 2コ	エルモ…ボルト白16本、ナット2コ エルモ アンプレッセe…ボルト茶8本、白8本 ナット2コ

5 床板の組立

①**床補強を下枠・側右、左**の切込みに落し込みます。

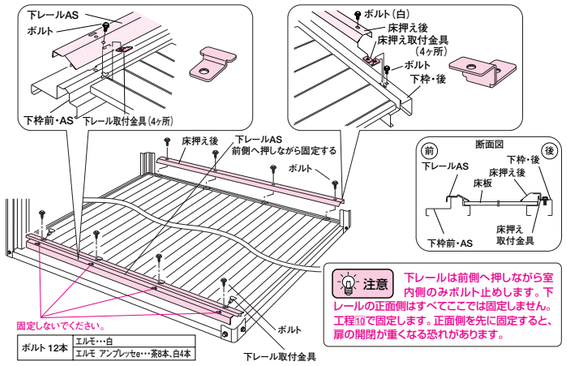


②**床板**を一方の端(どちらからでもかまいません)から順に並べます。
重ね部分を図のようにミゾにはめ込み並べます。



6 下レール・床押え後の組立

下レールASと床押え後を取付けます。**下レールAS**は**床板と下枠前・AS**の上に載せ、**庫内側のみ下レール取付金具**でボルト止めします。
床押え後は**床押え取付金具**を下枠に取付け、床押え後を金具にかぶせボルト止めします。

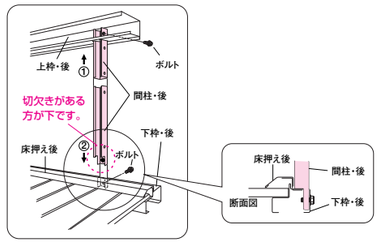


⚠注意 下レールは前側へ押しながら室内側のみボルト止めします。下レールの正面側はすべてここでは固定しません。工程⑩で固定します。正面側を先に固定すると、扉の開閉が重くなる恐れがあります。

ボルト 12本	エルモ…白 エルモ アンプレッセe…茶8本、白4本

7 間柱後の組立

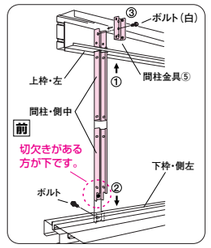
①**間柱・後**の上端を**上枠・後**に、差し込みます。
②下端を**下枠・後**に差し込んで上下共ボルト止めします。



ボルト 4本	エルモ…白 エルモ アンプレッセe…茶

8 間柱側の組立

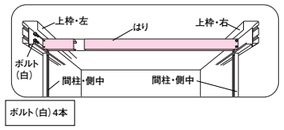
①**間柱・側中**の上端を**上枠・左(右)**に、差し込みます。
②下端を**下枠・側左(右)**に差し込みボルト止めします。
③上端に**間柱金具⑤**をはめこみ、中央の孔で内側からボルト止めします。



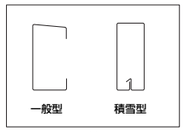
ボルト 4本	エルモ…白 エルモ アンプレッセe…茶2本、白2本

9 はりの組立

はりを両側の**間柱・側中**の上にのせてボルトで止めます。
積雪型のはりは、右端を間柱金具⑤に差し込んだ後、左端を間柱金具⑤にはめ込みます。



ボルト(白) 4本



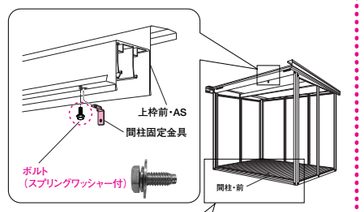
はり断面図

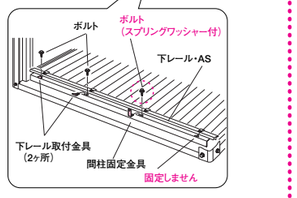
10 間柱前の組立

⚠注意 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。
それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書10、16～21を読んでください。 内のボルトはボルト(スプリングワッシャー付)を使用してください。

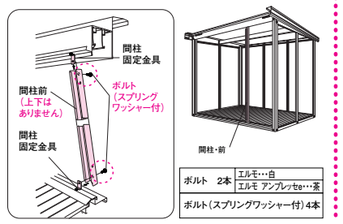
●左側開口の場合

①**上枠前・AS、下レール・AS**(工程⑥で固定しなかった箇所)に**間柱固定金具**と**下レール取付金具**をボルト止めします。



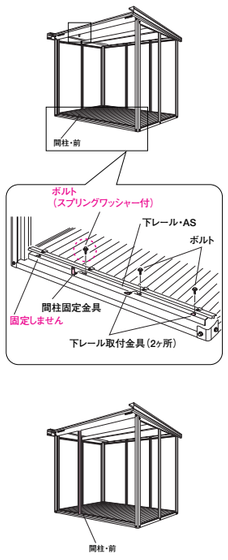


②**間柱前**の上側を先に入れ、次に下側を入れて両端をボルト止めします。



ボルト 2本	エルモ…白 エルモ アンプレッセe…茶
ボルト(スプリングワッシャー付) 4本	

●右側開口の場合

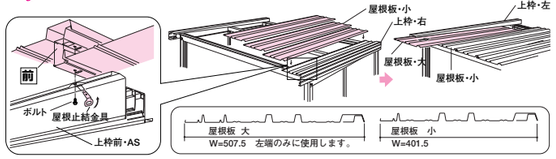


11 屋根板の取付け

①**屋根板**は、物置に向かって右端から**屋根板・小**を順に取付けて行き、(1枚目～5枚目)左端に**屋根板・大**(6枚目のみ)を取付けます。
この時 前 のマークの入っている方を前にします。
②隣同志の屋根板の**角孔と上枠・後の角孔**に屋根止結金具(10ヶ所)を通しボルトで仮止めします。**上枠前・AS**も同様に仮止めします。

注意 ソフトテープを破損しないように屋根を取付けてください。

ワンポイント 屋根止結金具は、上枠・後から先に取付け仮止めします。
屋根を全て取付けた後、ボルトを締めごろと取付け易くなります。



注意 屋根止結金具の向きを確認して取付けてください。
2211(H)型と2215(H)型とでは屋根勾配が変わるため屋根止結金具の向きが変わります。

ボルト 10本	エルモ…白 エルモ アンブレッセ…茶5本、白5本
屋根止結金具 10コ	

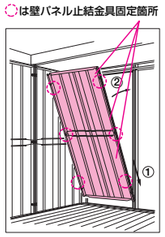
12 袖壁・壁パネルの取付け

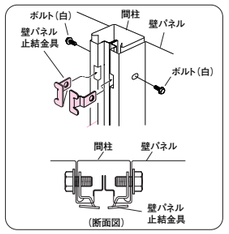
①室内から**壁パネル(Ⓐ壁・Ⓕ壁の2種類があります)**をはめ込みます。下を先に入れて、上をはめ込みます。
②上下中央の3ヶ所を**壁パネル止結金具**でボルト止めします。柱前と固定する側面の箇所は壁パネル止結金具は使いません。柱後部と袖壁を固定する箇所は壁パネル止結金具でボルト止めします。
③**袖壁**は壁パネルと同様に取付けます。

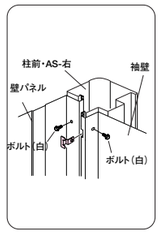
注意 壁パネル、袖壁は上下がありますので注意してください。壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の壁パネル止結金具の角孔が上下方向にずれる場合は、基礎の水平、本体の立ちを確認してください。

ワンポイント 壁パネルが取付けにくい場合、屋根止結金具のボルトを緩めると取付けやすくなります。

◌は壁パネル止結金具固定箇所

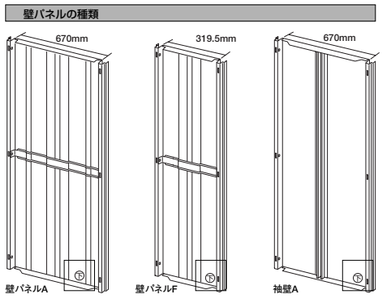






壁パネルの取付位置

壁パネルの種類



表示のある方が下です。

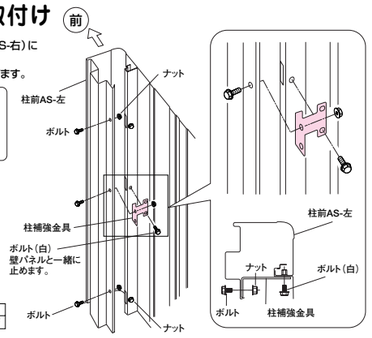
ボルト(白) 48本	
壁パネル止結金具 42コ	

13 柱補強金具の取付け

前

柱前AS-左(右側開口の場合は柱前AS-右)に柱補強金具をボルト止めします。
上下の孔はボルト・ナットで孔をふさぎます。

注意 右側開口の場合、柱補強金具を柱前AS-右にボルト止めしてください。

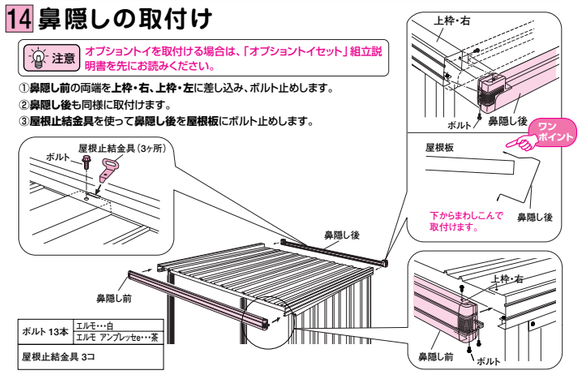


ボルト 3本、ナット3コ	エルモ…白 エルモ アンブレッセ…茶

14 鼻隠しの取付け

注意 オプショントイを取付ける場合は、「オプショントイセット」組立説明書を先にお読みください。

①**鼻隠し前**の両端を**上枠・右、上枠・左**に差し込み、ボルト止めします。
②**鼻隠し後**も同様に取付けます。
③**屋根止結金具**を使って**鼻隠し後**を**屋根板**にボルト止めします。

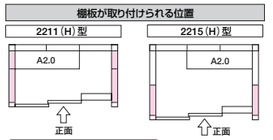


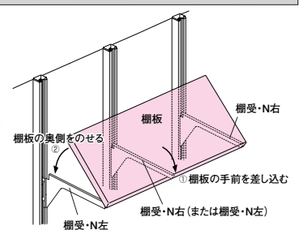
ボルト 13本	エルモ…白 エルモ アンブレッセ…茶
屋根止結金具 3コ	

15 棚板の取付け

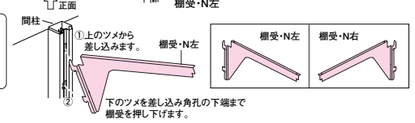
①棚受を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
②棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。
(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)

棚板が取り付けられる位置





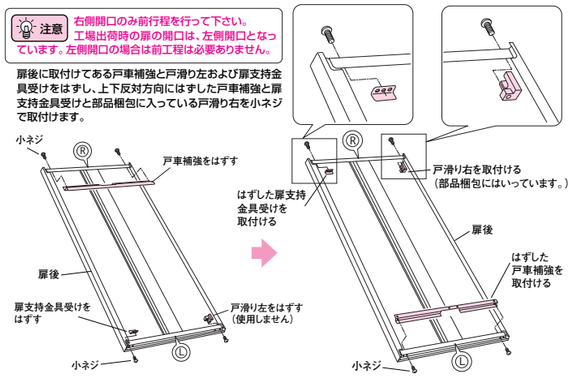
注意 □の壁パネルには棚受は取付けできません。



16 扉取付け前工程(右側開口に変更する場合のみ)

注意 右側開口のみ前行程を行って下さい。
工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっています。左側開口の場合は前工程は必要ありません。

扉後に取付けてある戸車補強と戸滑り左および扉支持金具受けをはすし、上下反対方向にはすした戸車補強と扉支持金具受けと部品梱包に入っている戸滑り右を小ネジで取付けます。

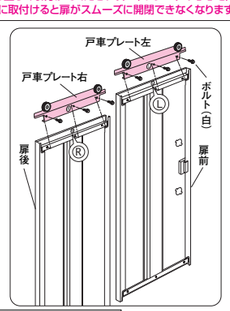


17 戸車プレートの取付け

●左側開口の場合

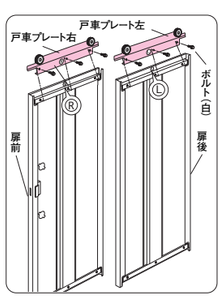
戸車プレートを**扉・前、扉・後**に取付けます。

注意 戸車プレートには、Ⓡ Ⓛ区別があります。
図の通り戸車プレートと扉の記号(Ⓡ Ⓛ)を合わせて、正しく取付けてください。戸車プレートのⓇⓁを間違えて逆に取付けると扉がスムーズに開閉できなくなります。



ボルト(白) 6本

●右側開口の場合

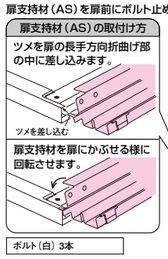


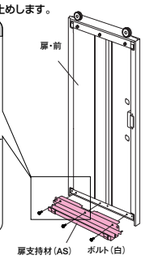
18 扉支持材の取付け

●左側開口の場合

扉支持材(AS)を扉前にボルト止めします。

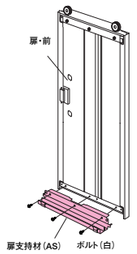
扉支持材(AS)の取付け方





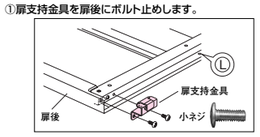
ボルト(白) 3本

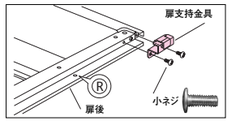
●右側開口の場合



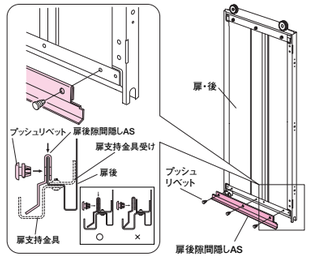
19 扉後隙間隠しの取付け

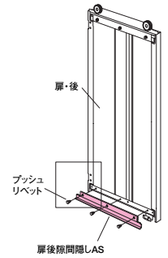
①扉支持金具を扉後にボルト止めします。





②扉後隙間隠し(AS)を扉後に取付けます。

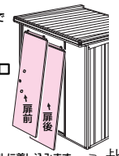




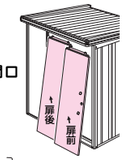
20 扉の吊り込み

扉・後、扉・前の順番で吊り込みます。

左側開口

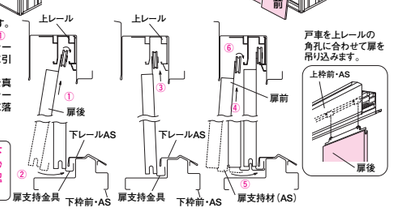


右側開口



扉の吊り込み方

●戸車プレートを上レールに差し込みます。まだ戸車を上レールにはのせません。①
●扉支持金具(扉前は扉支持材)を下レールAS(扉前は下レールASと扉後)に引っ掛けます。②
●戸車を上レールの角孔に合わせ、扉を真っすぐに持ち上げ、扉支持金具を下レールに引っ掛けながら戸車を上レールに落とし込みます。③
●扉前も同様に取付けます。④～⑥

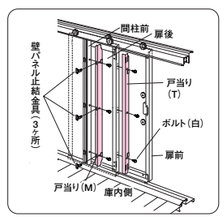


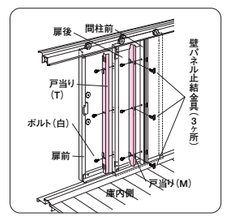
注意 扉を吊り込む際は下枠前ASの上面に砂埃が無いことを確認してください。

21 戸当り(M)(T)の取付け

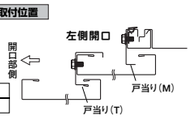
扉前・扉後・袖壁を図のように重ねた状態で間柱前に**戸当り(M)**を開口部側に壁パネル止結金具で取付け、扉後に**戸当り(T)**をボルト止めします。

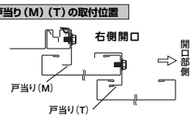
注意 扉を開閉した時、戸当りと扉(補強)が当たる場合は、戸当りを前後方向に調整してください。





戸当り(M)(T)の取付位置



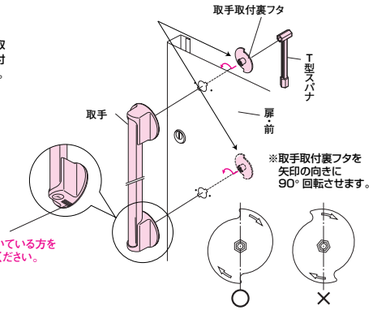


ボルト(白) 6本	
壁パネル止結金具 3コ	

22 取手の取付け

取手を**扉・前**に取付けます。扉前を取手と取手取付裏フタで、挟み取手取付裏フタをT型スパナで90°回転させます。

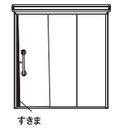
注意 取手には上下があるので向きに注意してください。端にミゾがついている方を下に向けてください。

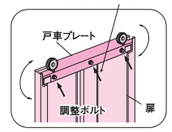


23 扉の建付けの調整

扉を閉めた時図のように隙間ができるような場合や、隙間がなくても鍵のかかりにくい場合は、戸車プレートを固定しているボルト(**調整ボルト**)をゆるめ、(扉1枚につき3本)調整します(扉前・後)。

注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の立ちを直してください。





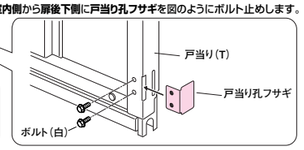
24 連動車の取付け・扉の開閉確認

①室内側から**扉後**に**連動車**を図のように扉と水平にボルト止めします。
②扉がスムースに開閉するか確認します。

ワンポイント 車部分を押し下げると取付け易くなります。

注意 連動車は、扉と水平に取付けてください。
連動車には、絶対に注油しないでください。
扉が連動しなくなります。

②室内側から**扉後下側**に**戸当り孔フサギ**を図のようにボルト止めします。



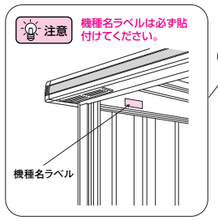
注意 扉の開閉が重い、スムースに連動しない場合は工程⑥注意を参照してください。
扉が戸当りに接触する場合は工程⑦注意を参照してください。

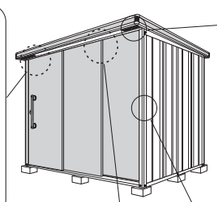
ボルト(白) 4本

25 その他の部品取付け

①取扱説明書に同封の対応する**機種名ラベル**を上枠左に貼ります。

注意 機種名ラベルは必ず貼付けてください。

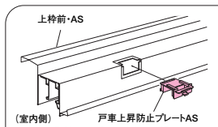




③**換気栓(左右共通)**をはめ込みます。

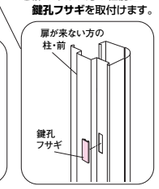
※換気栓には前後があります。製品の内側にある刻印で確認してください。

②上枠・前ASに**戸車上昇防止プレートAS**を取付けます。(3カ所)



注意 戸車上昇防止プレートは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉がはずれる原因になります。又扉を外すときは戸車上昇防止プレートASを必ず取り外してください。

④扉の来ない方の柱前に**鍵孔フサギ**を取付けます。



この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(2211(H)・2215(H))
ヨドコウ
淀川製鋼
(2008.2月制作)